



道も拓（ひら）かれている。彼女は  
どうして救済事業を利用しなかつた  
のか。そして、どうしたら夕刊売り  
母子のような社会事業の漏救を防ぐ  
ことができるのか。

「それにはまず、各家庭の実態を知  
る必要がある。実態が正しく把握で  
きないと、いくら施策を講じても救  
済資金をバラまくだけで有効な成果  
は上がらない。予算を有意義に使う  
には何よりも、調査手法の構築が先  
決ではなからうか」

かくして、調査機関としての方面  
委員が誕生した。方面とは地域のこ  
とで、小学校の児童の通学区域を一  
方面として、各方面に十人から二十  
人の委員を選ぶ。当初、方面委員の  
おもな仕事は、救済対象者の実態調  
査だったのだが、現場でのやむにや  
まれない事情で、実際の手伝いも兼  
ねるようになった。

今にも首を括ってしまいそうな家  
庭があれば、すぐに行動しないと間  
に合わない。病気の子供が手おくれ  
で死んでしまうと、見過ごすわけに  
もいかず、葬式の手続きを手助けす  
ることになる。そうした個人の温情  
に根差した活動は、現代の民生委員  
にも受け継がれている。

《参考文献》「民生委員の父 林市蔵」  
平瀬努著（潮書房光人社）

## 図書館員ノート⑨

# 「へんしんとしょかん」

三次市立図書館では、職員はエン  
ジ色のエプロンをつけて仕事をし  
ている。エプロンの紐をしめ、今  
日も一日頑張るぞ！と思ひ、はず  
す瞬間は、終わったと一安心で



ある。

ある日、前館長が「ゆかたを着て  
みるか。」と提案して始まった「ゆ  
かたデー」。三次の夏の風物詩であ  
る「鵜飼開きの日」、「きんさい祭  
りの日」、「花火大会の日」にゆか  
たで業務を行うのだ。

朝からあわただしく着付けをして  
出勤する。いつも通り仕事をこな  
そうとするがなれないゆかた&ぞ  
うりにひと苦労、、、しかし利用  
者さんから「あら、ゆかた！素敵  
ね。」などとうれしい声もかけて  
いただき、コミュニケーションをと  
るきっかけになっているのかな  
と思う。

クリスマスには、サンタの帽子を  
かぶりサンタに変身。二〇一六年  
「神ってる」カープが、二十五年ぶ  
りにセ・リーグで優勝した時は、

図書館でも応援しようと、クライ  
マックスシリーズの開催日に、ユ  
ニフォームを着てカープ女子(!?)  
に変身した。

正直、そこまで野球には興味があ  
りなかつたが、優勝にはとても感動し  
たし、日本一になってほしかった。  
普段はあまり見ない試合もちゃん  
とテレビで見た。ユニフォームを  
着ていると、昨日のカープの話  
で話しかけられ、盛りあがりうれ  
しかった。展示コーナーには、カー  
プ本を展示し貸出しも好調！図書  
館も本だけに「紙ってる」図書館  
なんてね！

残念ながら日本一にはなれなかつ  
たが、広島を街をとつても元気に  
してくれた。二〇一七年のシーズ  
ンもはじまった。  
がんばれカープ！

三次市立図書館 Y・S

# 『イシ』

## ——言葉が律した人間の振る舞い

時として本は、思わぬ方向で自分の気持ちに食い込むことがあります。「北米最後の野生インディアン」とサブタイトルの付いた『イシ』（岩波書店・同時代ライブラリー、91年刊）はそんな本です。

北米の文明史は、先住民のインディアンを西へ西へ追いやった歴史でもあります。初期の西部劇は、インディアンを襲撃する白人に拍手喝采する映画でした。私も子どものころ手をたたいた一人です。でもこれが、いかに野蛮な行為かと反省したハリウッドは、西部劇が作れなくなりました。当然です。

本書は、そういう時代に、追われるインディアンの中から描いた切ない歴史の本です。「イシ」とは、「人間」という意味です。最後の野生インディアンとして捕らえられた主人公イシは、自分のことを頑としてイシとしか言いませんでした。イシは名前ではありません。名前は、父親から受け継いだ魂のようなもので、人には明かさないので、人には明かさないので、米

国では、インディアン保留地を

つくり、そこにインディアンを取容しようとしめました。そして、土地を取り上げました。イシが少年のころ

ルニア大学の人類学博物館に預けられました。1911年のことです。その教授が著者シオドーラ・クローバーの夫アルフレッド・クローバーたちでした。

教授たちは、興行師らから見世物にしたいから貸してくれとの申し出

古今東西の文学にはたくさんの名作があります。そんな名作の中から筆者の心に残る作品を今の青年たちにも読んでもらいたいと思い、毎月1冊ずつ紹介しています。

### また読んでみたい本⑭

#### 青年たちに

音谷 健郎



【イシ 表紙】

第14回は、シオドーラ・クローバーの『イシ』です。もし興味を持ったらぜひ読んでみてください。

筆者紹介：1944年、旧・庄原町生まれ。新聞記者、大学講師を歴て現在、庄原市東本町在住。大阪文学学校講師

をしつかりと身につけていたからです。どういふことかというところ、イシは部族の皆殺しに遭い、10数人以上の人数に出会ったことが無いのです。社会生活を知りません。だが、村の要人の家柄としての節度や習俗を身につけていたのです。これらは、受け継いだ言葉の体系から身についたことと思われま

す。イシには、相手の性を尊重し言葉遣いを変えろという言語習慣がありました。文明社会に入っても、女性にはずっと遠慮がちで距離を置きました。イシは文明社会の身分体系を類推することができました。他の早くから分断されて逃げ回っていた人たちは、単純な伝達の言葉しか持たなかったのです。

イシは、簡単な計算が理解でき、大学の用務員兼助手として暮らし、肺炎で亡くなりました。

この本の本筋は、石器時代人のイシが文明とどうなじんでいくかが詳細に描かれていて、評判を呼んだのです。著者が、インディアンを深く理解するハートを持っていたので、この書が世に出たのだと、私は思っています。

余談ですが、『ゲド戦記』著者ル・グウィンはこの著者の娘です。

部族は皆殺しにされ、イシは母と妹、年輩の男2人の計5人で森の中を逃げ回り暮らします。だからイシは、弓や矢尻を作るだけでなく、獣の皮から衣類を作ることができました。しかし、やがて1人になり、力尽きて50歳過ぎで捕まり、カリフォ

「野草を楽しむ―摘み草の楽しみ」後編

山菜が「山の中の菜」という意味

での初出は唐代の人、貫休の桐江閒居誌の一節「村童頑似鉄 山菜硬如莎」というから（諸橋轍次『大漢和辞典』による）、唐代の造語といえる。

菜は説文解字にあるように「艸之可食者」つまり、食用になる植物を指しているわけで、山菜は山野に自生する食用植物を意味する言葉である。唐代に生まれたこの言葉は現代の中国では使用されていないように、代表的な中国語辞典である『辞海』の旧版（台湾中華書局版）にも、新版（中華書局・香港版）のいずれにも、山菜という言葉は収められていない。日本の場合、大槻文彦の『大言海』や上田萬年の『大日本国語辞典』、落合直文の『言泉』など戦前の代表的な国語辞典には収められていないところからみて、戦前、特に昭和初期まではほとんど一般に用いられていた言葉ではなかったといえ

る。

昭和三十年（一九五五年）に生まれた、新村出の『広辞苑』（初版）には、山菜という言葉が収められているところから、最近になって一般的に広く用いられるようになった言葉と考

えるわけである。山菜の出典は前に述べたとおりであるが、何時ごろ日本語として登場したのか、いずれ、そのルーツを探りたいと思う。因みに現在、栽培されている食用植物を私たちは「野菜」と総称しているが、野菜の初出は諸橋轍次によると『遼史大祖紀上』にある「士卒煮馬駒採野菜 以爲食」であるという。この記述からは、栽培された食用植物というより野生の食用植物というイメージが強く感じられる。野菜はもと野生の食用植物を指していたが、やがて、広く栽培されている食用植物にもふくめて用い、現代になって栽培した食用植物に限定するよう

著者紹介…一九三一年、比婆郡（現・庄原市）比和町に生まれる。農学博士（九州大学）。昆虫や動植物などの自然科学、郷土史や民俗学を含めた博物学の研究者で、著書は多岐にわたる。

になったのではなからうか。

江戸初期、寛永六年（一六二九年）から承応三年（一六五四年）の間に成立したと推定される日本最古の農書『清良記（親民鑑月集）』の巻七上に「四季作物種子取事」という章があり、四季の作物の栽培と収穫について暦風に列挙している。例えば「正月に取りて食する菜園野菜の事」をみると（※括弧内は現代の和名）、

- 一、萱草（カンゾウ） 一、蕪菜（カブ）
- 一、大根 一、芹（セリ） 一、薺（ナズナ） 一、牛蒡（ゴボウ） 一、たひらこ（タビラコ） 一、仏の座（ホトケノザ） 一、はこへ（ハコベ） 一、露のとう 一、野大根 一、高苣（チシャ） 一、苣菜 一、つわ（ツワブキ） 一、ひしき（ヒジキ） 一、おこ（オゴノリ） 一、葎（ニラ） 一、夏菜（フダンソウ） 一、葱（ネギ） 一、根深葱（ネブカネギ） 一、あさ付（ア

※中村さんの回想録的なコンセプトで編纂された「虫と草木と人びと」（シンセイアート出版）から、著者の許可を得て、その一部を抜粋、転載しています。

- サツキ） 一、蒜（ニンニク） 一、千根（エゾネギ） 一、芥子葉（カラシナ） 一、三つ葉芹（ミツバ） 一、蓮根 一、葛根（クズの根） 一、わらひ根（ワラビの根） 一、防風（ボウフウ） 一、いひら（ヒユ） 一、嫁ヶ菘（ヨメナ） 一、百合 一、ほと（ホドイモ） 一、野良（オニドコロ） 一、薯蓣（ナガイモ） 一、人参の葉 一、たんぼぼ（タンポポ） 一、子持菜（ノゲシ） 一、高野菘そらまめの葉 一、風連草（ハウレンソウ）

の四十一種にのぼる食用植物を野菜として挙げている。このうち、二種は海藻、十六種が現代、私たちが野菜としているもので、残る大半は野生のものである。この頃は、野菜を栽培種に限定せず、野生をふくめて考えていたようである。また、貝原益軒は前にもふれた『菜譜』に食用に供する植物の栽培管理、利用など

をまとめているが、菜の分類に当って「野菜」という類を立て、その分類群に「山菜」ところ（漢字変換不能）葛、蕨、紫蕨、独活、土筆、鼠麴草、藤天蓼、浜防風、よめがはぎ（漢字変換不能、ヨメナ）の十二種をふくめ、解説している。それを見ると益軒のいう野菜は今の山菜と同じ意味に用いているといえる。野菜という言葉を生生の食用植物をふくめて広義に用いたり、益軒のよめに山菜と同義に用いたりしているところにも、萬葉の昔から摘み草が人々の生活の一部として、食料確保の一部として伝承されていたことを読みとることができる。

山菜ブーム、山菜という言葉の流行の中で、山菜が私たちに問いかけているものは何であろうか。それは飽食の時代といわれる現代、見かけの豊かさからの脱却を強く訴えているものと考えられる。旬を見直して季節感を取り戻し、自然に親しみながら、ゆとり・うるおいのある生活を、問いかけていると思われる。従って、まず山菜ブームの中に多分にみられる商業主義を排除し、いびつなものを取り去っていくことが必要であろう。次に、摘み草の伝統を復活させ、野草と親しむことが大切であろう。

山菜というワラビ、ゼンマイ、タラに限ってしまうくらいがあるが、摘み草の伝統の中には限定はない。雪の消えた畦道でセリやナズナを摘み、春草の萌える畑の隅でノビルを摘むこと、身近にある自然を見直し、そこに生きている野草たちと触れ合うこと、それが摘み草の伝統であり、摘み草の神髄でもある。夏の畑の雑草、路傍の雑草としてかえり見ることもなくなくなってしまったアカザの若葉など、捨てがたいものがあり、それら身近な自然への回帰も摘み草ならではの味わえない境地である。

中国山地の人々は多くの野草や木の芽を自然の恵みとして享受していた。いたと過去形にしたのは、山村の生活様式が都市化し、伝承が消えているからである。伝承されている生活の知恵を整理してみると、そこには多くのぬくもり・うるおいがみられる。セリ、ナズナ摘みに始まって、ヨモギ摘み、草餅にはヨモギだけではなく、ほうこ（キクバヤマボクチ）、やまぶどうの若葉も使われ、旬に摘んだ葉をゆでて干し、折々に利用した。

木の芽摘みでは、はしぎ（ミツバウツギ）に始まり、たら、さんしょう、

ままこな（ハナイカダ）、くさぎな（クサギ）と摘まれていき、じょうぼ（リョウブ）の葉には救荒植物という暗い物語が残されているが……、じょうぼもかつては摘んでいた。野草はわらび、ぜんまいはもちろんのこと、ふぎ、たきずみな（ウワバミソウ）、くろな（モミジガサ）、めら（ミヤマイラクサ）、あざみ（テリハノアザミ）、かきぜり（ヤマゼリとヒカゲミツバ）などを摘み、旬の味を楽しむばかりでなく、保存して、長い単調な冬の食生活への彩りとした。摘み草、木の芽摘みに当たっては、「元も子も失ってはならない」と、根こそぎ摘み取るようなことはなく、必ず一部を来年の楽しみにと残していた。その謙虚さは自然保護の本質にも通ずるもので、生活の知恵でもある。

今はどうであろうか。タラなど見つけると手あたり次第、木の芽をもぎとり、手の届かないところは折ってとる始末。また、一番芽を摘みとられたタラがやっとの想いで（？）芽ぶいた二番芽も根こそぎもぎとってしまうという有様で、タラは再び春を迎えることなく枯れてしまう。そこには謙虚さは微塵もなく、浅ましきしかない。摘み草の伝統を復活

させるといふ中には、自然への回帰と共にこの浅ましさを克服し来年への楽しみをつないでいく営み、次の世代へ自然の恵みを伝え、その楽しみを残していく、豊かな人間味を取り戻していくこともふくまれている。

山菜ブームといわれる今日、野草を食べる楽しみをただ風雅なこと、趣味的な粋に止めることなく、また、商業主義に毒されることもなく、潤いと安らぎをもたらす生活の一部としてとらえ、摘み草の伝統を復活させたいものである。

## どろ書房 委託販売コーナー

### ★「天馬書林」

新書の教養書と戦争関連本、ノンフィクションが充実。

### ★「サワちゃん文庫」

中国、日本の歴史書、思想書が中心のラインアップ。

各専用棚で好評販売中！

「孫に対する思いやりというもんがないのかね」

久美子は、バスの中で悪態をついた。介護型病院に入っている祖母の見舞いの帰りだった。伝法な性格で、「庄原の江戸っ子芸者」とひそかに呼んでいる。御年百三歳、名前を「シカ」という。なんでも動物の名前をつける縁起の良い年があるらしい。四人部屋には「とら」さんが入院しているが、「シカ」の方が元気で威勢がいい。

「昨日、夢をみたんよ。おかつぱ頭に桜色の浴衣を着た女の子が、歌を唄いながら手招きしとる。それで思い出したんよね」

一冊の袋とじの本を差し出した。肉筆で、「旧三上郡三十三か所霊場探訪記」と書かれている。手書きで書かれた解説文を読むと、三上郡とは、庄原市誕生以前の庄原町、敷信村、本田村、高村を一括した藩政時代の郡名で、この範囲に点在する三十三か所の霊場（札所）を調査した本だった。

「女の子の歌の中で、雲龍寺という名前が出たので思いだしたんよ」

祖母に言われてページをめくった。「第三十三番 庄原 松翁山 雲龍寺」と書かれている。「朝ごと

に 軒場はれゆく 雲龍寺 のぼる

日かげぞ 松間もりくる」、御詠歌である。歌詞にはその霊場ごとの風物が織り込まれ、巡礼たちは鈴を鳴らしながら御詠歌を唱えて歩くのだ。

「じいちゃんに連れられて、三十二番の札所までは行ったんよ」

そこで、子供だったシカは考えた。まだこれといった願いは思い浮かば

悠長な巡礼である。

「自分の足じゃ、もう無理だから、あんた、わしのかわりに行ってくれんかの」

祖母は口は達者だが、足が弱って寝たきりになっている。

「何をお願いしてくれればいいの」  
「早く迎えが来るように、よく拝んできておくれ」

## 「三十三観音」

あきふゆひこ  
亜木冬彦

現代御伽草子⑬

※県北の歴史や風物を題材としたファンタジー小説です。

ない。せっかく三十三か所も歩くんない。最後の札所は、もっと大きな願い事ができたときまで取っておこう。子供のときからちゃっかりしていた。「この前、甥っ子が見舞いに来たとき、こんなものが出てきたと、その本を持って来てくれてね。それで、まだ結願していないことを思い出したんよ」

冗談言わないでよ、と断ったが、祖母は頑なだった。この齢までお迎えが来ないのは、神さんに忘れられているに違いない。ちゃんと田中シカのことを思いだすように頼んでおくれ。じゃ、ずっと忘れてもらえばいいじゃない。もう十分すぎるほど生きたけえ。上には上がいるんだよ。押し問答があつて、祖母が声を荒げ

た。「あんた、本厄の出戻りじゃろう。ついでに厄払いしてもらつて、自分のことも頼んでんさい」

久美子は三十三歳、女の大厄である。厄払いを勧める友人がいたが、そんなの迷信よと取り合わなかった。しかし、夫の浮気が発覚して離婚。相手が妊娠していると知って、戦鬪意欲が萎えた。自分は妊娠しにくい体質だと、医師から告知を受けていた。

厄年の三十三という数字には、何か意味があるのだろうか。札所が三十三か所なのには理由がある。観音菩薩が娑婆世界に遊行し、そのときどきに三十三種類の姿に変化して人々を救うということが「観音経」に説かれている、と探訪記の本には書いてあった。

札所巡りは西国三十三か所霊場が有名だが、相当な時間と財力が必要になる。庶民でも行ける札所が求められ、三上郡三十三か所霊場や恵蘇郡三十三か所霊場のように郡ごとの巡礼コースが設定された。江戸時代の中頃から巡礼が行われていたと推測されているが、今は廃れて札所が消えてしまったところも多いらしい



い。  
「よお、田中じゃねえか」

市役所の前の通りで声をかけられた。巳之口（みのくち）良平、小学校のときの同級生だ。

「今は佐藤さん、だっけな」

はにかんだ顔で言い直した。何年前かに、同窓会で顔を合わしたことがある。もっと珍しい名前のやつと結婚しろよとからかわれた。

「また田中に戻ったから、よろしく」  
「つい本当のことを言ってしまった。」

「うん？ 旦那に棄てられたか」  
冗談で言ったのだろうが、押し

黙った久美子を見て、良平の笑顔が強張った。

「まあ、人生いろいろだ。おれもな、実はバツ一なんだ」

背後に隠れていた女の子を押し出すように、久美子の前に立たせた。

「娘のかりんだ。三歳になる。シングルファーザーの子育ては大変だぞ」

「駆け落ちでもされたか……」

心の中のつぶやきが、口からこぼれてしまった。今度は良平が押し黙った。

久美子の母親がそうだった。幼い久美子を残して、パート先の上司と駆け落ちした。久美子は父方の祖母のもとで、中学を卒業するまで育てられた。

「かりんちゃん、初めまして。久美子おねえちゃんよ」

おかつぱにした頭を撫でた。

「バツ一のおばちゃんだろ」

良平がつぶやいた。

「これからどこに行くの？」

無視してかりんに尋ねた。

「パパと一緒に、上野池でボートに乗るの」

かりんが笑顔を見せた。桜の花模様のワンピースを着ている。

「おまえはどこに行くんだ」

良平に訊かれて、祖母とのやりとりを説明した。

「雲龍寺の観音さんはな、安産祈願で有名なんじゃぞ。お祈りする前に、新しい相手をみつけんとな」

さっきの仕返しだろうか。

「ちようどいいわ。元旦那の愛人の安産祈願」

そうやって久美子は、背を向けて歩きだした。

「さてよ、付き合うよ」

良平が追いかけて来て、隣に並んだ。小学生の頃はクラスで一番のチビだったが、中学のときにぐんぐん背が伸びて、今は久美子よりも頭一つ、背が高くなっている。

指先に何かが触れた。かりんの手だった。しっかり握ってやると、安心したような笑みを浮かべた。雲龍寺の観音堂で、かりんは何を祈願するだろうか。子供の頃の自分と同じだろうか。

「あたしも一緒にボートに乗ってもいいかな」

良平は一瞬、驚いた顔をしたが、笑顔で頷いた。

「安心してくれ、泳ぎは得意だから」

「どういう意味？」

目の前を鳥影がよぎった。いつの間にかツバメの季節になっている。

## まちの古本屋さん どら書房

古書探索の旅に、お気軽にお立ち寄りください。

- ・無料本、百円本、50円本などのコーナー。無料の漫画ルームもあります。
- ・地元のポストカード、新鮮野菜の店頭無人販売もやっています。

※九日市の開催日は定休日でも開店します。

- 庄原市中本町 2-1-10
- 定休日：毎週月・火曜日
- 営業時間：9:30~19:00
- TEL：090(9913)3052

※広島銀行庄原支店の手前（三次側から）※交差点角のまちなか駐車場が使用できます。

< 広告料 1/4 ページ 1 回 2,000 円 半年間 9,000 円 1 年間 1,5000 円 >

# 今月の3冊

どら書房の店主が毎月オススメ本を3冊選んでご紹介します。

## 「H2」

あだち充 著 小学館

エイチ・ツーと読む。漫画本の整理をしていて、懐かしい作品に再会した。あだち充の代表作は「タッチ」だが、いちばん好きな作品はと問われれば、この作品が思い浮かぶ。タッチと同じく高校野球が舞台だが、H2は比呂と英雄の中学時代のチームメイトが主人公。ピッチャーの比呂とバッターの英雄、投打のヒーローが別の高校に進学してライバルとなる。スコポン漫画がベースにあるのだが、ラブコメの要素を取り込んだ脱力感が心地良い。女の子が愛らしくて、青少年には刺激的なサービスショットも盛り山。



少しだけ読むつもりが、止まらなくなって全34巻を読了。どら書房の漫画ルームで読めますよ。

## 「洞窟オジさん」

加村一馬 著 小学館

NHKのBSプレミアムでドラマ化されたが、わたしは見ていない。親の虐待に耐えかねて、13歳で愛犬のシロを連れて家出。足尾銅山の洞窟で、ヘビやネズミ、イノシシや野ウサギを食べて暮らした。シロが死んでからは栃木、新潟、福島や山梨などの山中を放浪、たどり着いたのは茨城の小貝川で、魚釣りをしながら橋の下で生活。野山でのサバイバル生活は43年間にわたる。



それから社会復帰を果たして障害者施設で働くようになるのだが、孤独でも自然の中で暮らしていた方が幸せそうに思えるのはわたしだけではないだろう。カタツムリのつぼ焼きはうまさうだが、ヘビのたたきはノーサンキュー。

## 「深夜ふたたび」

志水辰夫 著 文藝春秋

イギリスの作家、ギャビン・ライアルの傑作「深夜プラス1」へのオマージュだが、和製ハードボイルドの名作。かつてベトナムの逃亡米兵を国外脱出させた実績のある「運び屋」が、新型レーダーの機密データを持つ元自衛官を、潜伏先の京都から根室を経て、ソ連に渡してほしいとの依頼を受ける。警護役の元軍人をメンバーに入れて、車での脱出劇が始まった。



小太りの中年男である主人公のキャラが、ハードボイルドとしては異色。警察の目を逃れて車は北上するが、謎の団体に追撃されることになる。二転三転する敵と味方。洒落で重厚なセリフが味わい深い。ハードボイルドは会話が命だとあらためて実感。

## どら書房 << 貸本屋システム >>

- ・ 店内で販売した本は、どら紙幣（店内専用通貨）であれば半額、現金であれば3割で買い戻します。※破損や汚れがあれば値引
- ・ 書籍購入⇒読了⇒どら紙幣と交換⇒新たな書籍購入、貸本のような感覚でご利用ください。

## どろろくろ俳壇

※投句を歓迎します。

春泥に乗り捨てられし盗難車

近藤 昌平

百年の牧百年の桜かな

原博己

鎖なす牡蠣かきをクレーンで引き上げる

片岡 正人

助手席でうつらうつらや目借時めかりどき

隆愚

引き出しの錆びた鉄筆風光る

赤川 冬人

## 投稿&寄稿

「クローバーの葉」 富久光

クローバーの葉の形は千差万別である  
同じに見えて微妙な違いがある  
私の好きなクローバーは  
主脈の左右バランスの整った  
丸みの葉っぱである  
最もシンプルだが好みの葉は少ない  
ときおり神業としか思えないような  
見事なハート形の葉に出会うことがある  
子どもの頃からクローバー好きで  
叢を見て一瞬にして見分ける特技がある

四つ葉五つ葉のクローバー然り  
自然の造形の完璧さに驚き感動する  
クローバーの生長は早く  
同じ叢も一日で変化するから楽しい  
一日でぐいと伸び上がってくるのがある  
異形奇形正常型も総て美しさに  
変わりはない  
クローバー好きが転じて  
葉を型どり土笛を作っている

「鯉のぼりの季節」 M・A

五月は端午の節句、鯉のぼりの季節である。昔は家々の庭先で、大きな鯉のぼりが風にはためいていた。私の実家にも立派な鯉のぼりが泳いでいたようなのだが、ほとんど記憶に残っていない。

男の子が誕生したお祝いに、親戚のうちからいただいたそうなのだが、それは大人の世界の話で、幼い子供には柏餅の方がよっぽど嬉しい。いくら立派でも眺めるだけの鯉よりは、上野池で釣った鮒の方が、まだ焼いて食べられるので腹の足しになる。

鯉のぼりの季節まで、そう言われたのは昔の弱い広島カープである。地方の貧乏球団で、昭和五十年に優勝するまでは、一度三位があるだけで、毎年Bクラスでくすぶっていた。最初から低空飛行では、お客さんに球場に来てもらえない。入場料収入が減れば、球団存続の危機である。だから、開幕すると全速力でダッシュする。マラソン大会で、実績のない選手が先駆けしてトップを走るようなものである。途中で息切れして、いつの間にか下位に沈んでしまう。

今は、鯉のぼりの季節まで、なんて言わせない。ただし、パ・リーグとの交流戦が鬼門である。広島だけではなく、セ・リーグ全体の分が悪い。カープがオープン戦で勝てなかったのは、パ・リーグとの対戦が多かったから、そんな陰口もちらほら。今年こそは、交流戦で優勝して、日本シリーズでも雪辱してほしい。秋の鯉のぼりも悪くない。欲張りすぎだろうか。

今月のどろろくん



絵・風太

# 四隅突出型墳丘墓 その2

よすみとつしゅつかたふんきゅうぼ

文責・寺岡隆行



佐田谷 1 号墓

	東西	南北	高さ
佐田谷 1 号	19.0	14.0	1.5
佐田谷 2 号	17.0	13.0	0.5
佐田谷 3 号	24.0	11.0	1.8
佐田峠 1 号	17.2	12.6	1.4~1.7
佐田峠 2 号	15.0	14.4	2.0
佐田峠 3 号	15.0	8.0	1.2
佐田峠 4 号	4.5	6.4	0.5
佐田峠 5 号	8.0	8.0	

※単位はメートルです。

墳丘墓8基のサイズ比較表

出土物の調査から、山陰地方や近畿地方の同型のものより古いとの事です。目下、国の史跡指定の申請をする作業が行われています。

平成二十二年九月二十六日には、庄原市ふれあいセンターにおいて、「四隅突出型墳丘墓の起源をさぐるシンポジウム」が開催されました。

基調講演は、「四隅突出型墳丘墓の出現とその意義」（渡辺貞幸・出雲弥生の森博物館館長、島根大学法文学部名誉教授）。

事例発表は、「広島県の事例及び佐

田峠墳墓群の調査報告」（野島永・広島大学準教授）、「関西の事例」（肥後弘幸・財団法人京都府文化財調査研究センター）、「山陰の事例」（坂本豊治・出雲市）。

シンポジウムパネリストは、野島永、岩崎誠（中国新聞社論説委員）、坂本豊治、肥後弘幸、妹尾周三（東広島市教育委員会）、伊藤実（広島県立歴史民俗資料館）、寺岡隆行（宮内史蹟マップ作成委員会副会長）、以上のメンバーで、午前十時から午後三時半に行われ、シンポジウム終了

後、発掘調査現地公開が行われました。

以降も発掘中に、毎年のように現地説明会が開催され、地元の方々の参加だけでなく、遠方からも多数の参加者があります。興味のある方は、庄原市田園文化センターの資料室に展示物がありますので、ご覧頂けたらと思います。

現在、佐田谷 1 号だけ土盛りの復旧がなされていますので、どんな形のものなのか、見る事が出来ます。大きさとしては、表の通りです。

# どらくろお 掲示板

地域のイベント情報やメンバー募集など  
情報掲示板です。

- 一 硬式テニス参加者募集 一
- MTEC (Miyoshi Tennis Enjoy Club)
- 場所：三次運動公園の屋内&屋外コート
- ・火曜日 (9:30 ~ 12:00)
- ・水曜日 (9:30 ~ 12:00)
- ・土曜日 (12:00 ~ 14:00)
- 連絡先：中川 (☎080-5610-2376)

## 陶芸 教室

### 洲澤陶芸教室 (電動ロクロほか成形全般)

- ・ 県大前教室 (0824-72-0686) 月謝 2,000 円  
金曜日 (毎週) 午後 1 時 ~ 4 時 30 分
  - ・ 敷信自治センター教室 (0824-72-0571) 月謝 1,000 円  
木曜日 (第二、第四) 午後 1 時 ~ 4 時 30 分
  - ・ 庄原小学校前教室 (0824-72-1074) 月謝 1,000 円 (月 2 回)  
月曜日 ~ 水曜日 (希望する日) 午後 1 時 ~ 4 時 30 分
- ※詳しくはお電話ください。0824-72-1074 (夜間を希望)  
洲澤悦二 (庄原市西本町 2-11-19)

### 《情報 & 原稿を募集します!!》

- 仲間募集
- 教室 & 講座案内
- イベント情報
- あなたの大切な本の紹介
- ボランティア・ライター (現地記者) 募集!

※応募先はどら書房・赤川まで。  
掲載は無料です。

### どらくろお ホームページ

バックナンバーも掲載して  
いるので、ダウンロードして  
お楽しみいただけます。



<http://shobara.wix.com/dorakuroa>

## 「庄原さとやまオープンガーデン 2017 春」開催中!

庄原市内に散らばる、里山を背景にした個性豊かな庭たち。バラの庭、裏山を取り込んだ大きな庭、里山の原風景を組み合わせた日本庭園、こだわりガーデニングの庭などを期間限定で公開。

開催期間：4月8日(土) ~ 6月11日(日)  
連絡先：庄原市観光協会 (0824-75-0173)

### 編集後記

◇「県北現代小史②」の「山里民生委員物語」は、前編後編の二回にわけて掲載。民生委員というシステムを知らない人が意外と多いので、前編は歴史的なことを説明しただけで終わってしまいました。次回はより具体的な活動内容を紹介する予定ですが、個人情報には注意が必要です。

◇野良猫だった雌猫のドラマを飼い始めて八カ月になりました。今ではわたしがテレビを見ていると、撫でてくれと膝の上に乗ってきます。わたしが寝ているときは枕元で添寝して、わたしの頭髪を舐めて「毛繕い」。しかし、今の季節は抜け毛がひどいですね。コロコロクリナーは、猫のいる家庭の必需品です。

発行：どら書房  
〒727-0012  
庄原市中本町 2-1-10  
☎090(9913)3052 (赤川)  
e-mail: touzin@sannet.ne.jp  
年間購読料：2,000円(郵送費込)

誌面デザイン：ROUTE183  
協賛：九日市愛好会

天正年間(440年前)に物々交換で始まった市(いち)が、昭和年代の戦争で途絶えましたが空き店舗を活用した市街地活性化ボランティア活動で、2001年に復活し存続しています。

# 第196回 「くunchiいち 庄原九日市」

9:00~13:00

平成29年 5月9日 (火)

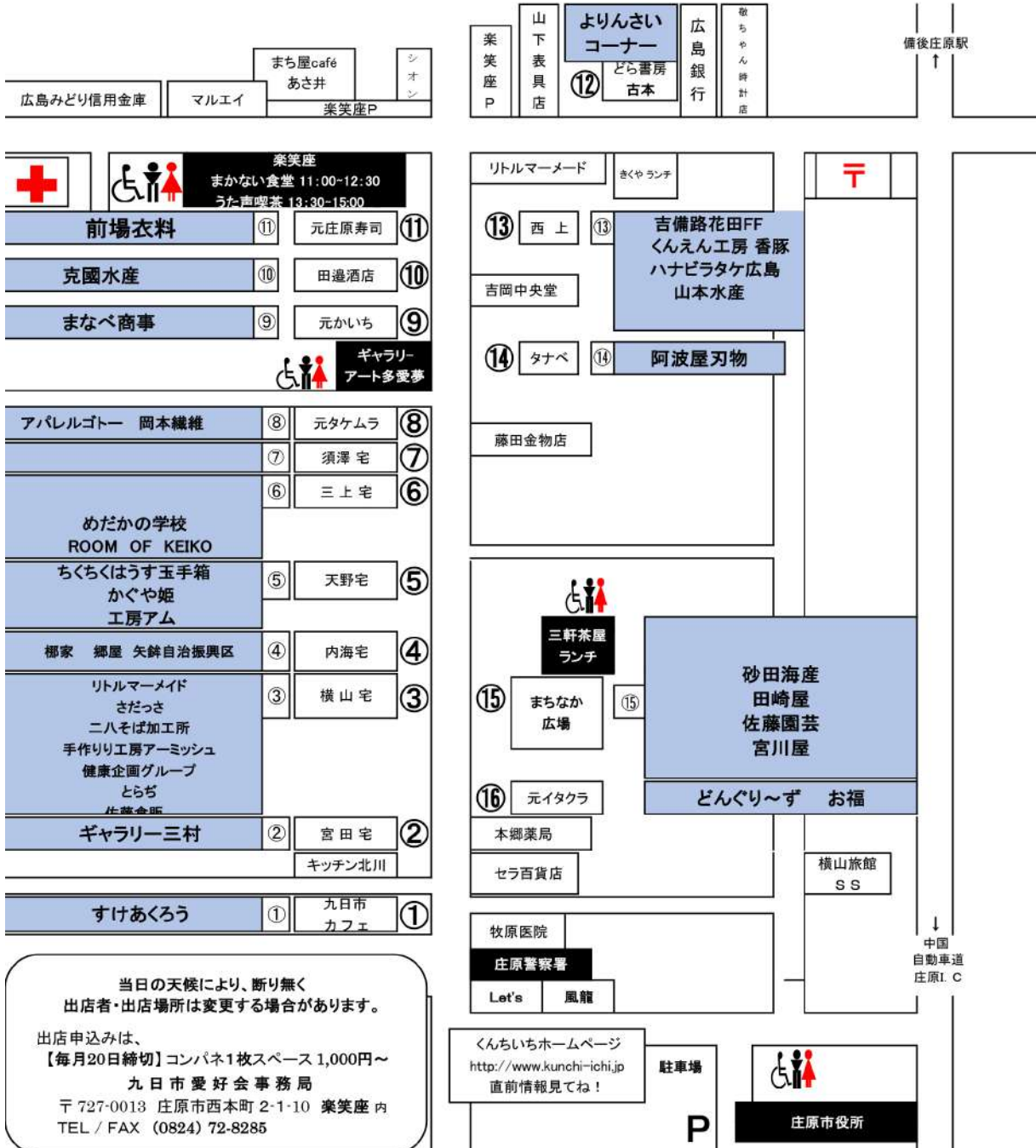
## トピックス

★ 市民ギャラリー「アート多愛夢」では  
ちくちくはうす玉手箱(着物リメイク)  
とき 5月8日(月)~10日(水)

★風龍……九日市スペシャル! 餃子200円!

★どら書房…営業時間 9:30~19:00

毎週 月曜日と火曜日はお休み



楽笑座	
まかない食堂 11:00-12:30 うた声喫茶 13:30-15:00	
前場衣料 ⑪	元庄原寿司 ⑪
克國水産 ⑩	田邊酒店 ⑩
まなべ商事 ⑨	元かいち ⑨
ギャラリー アート多愛夢	
アパレルゴトー 岡本繊維 ⑧	元タケムラ ⑧
	須澤宅 ⑦
	三上宅 ⑥
めだかの学校 ROOM OF KEIKO	
ちくちくはうす玉手箱 かぐや姫 工房アム ⑤	天野宅 ⑤
柳家 郷屋 矢鈴自治振興区 ④	内海宅 ④
リトルマーメイド さだっさ 二八そば加工所 手作り工房アーミッシュ 健康企画グループ とらぢ 壮蔵会館 ③	横山宅 ③
ギャラリー三村 ②	宮田宅 ②
	キッチン北川
すけあくろう ①	九日市 カフェ ①

当日の天候により、断り無く  
出店者・出店場所は変更する場合があります。

出店申込みは、  
【毎月20日締切】コンパネ1枚スペース 1,000円～  
九日市愛好会事務局  
〒727-0013 庄原市西本町2-1-10 楽笑座内  
TEL / FAX (0824) 72-8285